

## 認知症疾患医療センターからのお知らせ

認知症疾患医療センターでは、認知症の専門医による認知症の鑑別診断や症状コントロールなどを目的とした診察(完全予約制)を行っております。

なお、2024年10月1日から、和歌山県立医

科大学附属病院では**当センターを含め、新患診察予約申し込みについてはFAXでの申込み**となっております。**患者さんからのお電話での予約は承っておりませんので、予めご了承ください。**

### 認知症疾患医療センター受診の流れ

#### 認知症疾患医療センターの受診予約

地域の医療機関から予約申込書(当院ホームページからダウンロード可能)と診療情報提供書を**予約センター(Fax:073-441-0805)にFAXにて送付し、受診予約をお願いします。**

2024年度の診察曜日と担当診療科は、次の通りです。

**月曜日** 神経精神科

**火曜日** 脳神経内科

**金曜日** 脳神経外科

#### 受診当日の流れ

- ①ご家族または支援者と共に予約時間までに来院し、各診療科で受付
- ②ご家族または支援者には、認知症疾患医療センタースタッフによる生活状況の聴取
- ③ご本人には、臨床心理士による心理検査を実施
- ④必要に応じて医師指示により画像検査等を実施
- ⑤認知症専門医師による診察



#### 当センターでの診察後

※患者状態により複数回受診していただく場合があります。

- ①当センターより診察内容について、紹介元医療機関に情報提供
- ②地域の医療機関等にて継続加療



認知症疾患医療センターでは電話での専門医療相談を行っております。

#### 専門医療相談

- もの忘れや受診に関する相談
- 認知症に伴う行動・心理症状(BPSD)の対処方法
- 認知症の方とのかかわり方や生活の工夫
- お住まいの地域で認知症の診察を行っている医療機関の情報提供

←ぜひお電話でご相談ください。

## 軽度認知障害 (MCI) についてご存じですか

軽度認知障害 (MCI) とは、記憶や注意などの認知機能のレベルが年相応よりも低下している状態で、正常とも言い切れない段階です。

症状としては、昔のことは記憶しており基本的な日常生活行動は自立できていても、新しく経験したことを記憶していなかったり、今まであった物事に対する興味が薄れたり、支障なくできていたことが上手くできなくなってきたりします。

ただ、症状は個人差があり、加齢による認知機能低下や他の疾患によっておこる認知機能低下との鑑別診断も必要です。

MCIの段階ではできることが多いため、一見して認知機能が正常な方と見分けがつかないこともあります。

### 認知症に至る経過



## 抗アミロイドβ (Aβ) 抗体薬治療について

近年メディア等で取り上げられている抗アミロイドβ (Aβ) 抗体薬は、認知症そのものを治療する薬剤ではありませんが、MCIや軽度アルツハイマー型認知症に対し、進行遅延の効果が示されています。

また、認知症進行遅延のためには、日常生活

習慣の改善や運動習慣を持つこと、社会活動への参加などが必要となります。

抗Aβ抗体薬治療は、厚生労働省から示されているガイドラインに基づき実施します。

当院で抗Aβ抗体薬治療をご希望される方は、次の内容にご注意ください。

### 抗アミロイドβ (Aβ) 抗体薬治療までの手順概要



※厚生労働省ホームページ(参考:抗アミロイドβ抗体薬治療までの手順概要)から引用

- 抗Aβ抗体薬治療の適応可否判定のため、複数の検査を受けていただきます。特殊な検査もあり、ご家族と共に複数回受診していただく必要があります。また、抗Aβ抗体薬治療が開始になった後も受診時にはご家族の付き添いが必要となります。
- 認知機能検査が抗Aβ抗体薬治療の適応範囲内であったとしても、他の検査結果で抗Aβ抗体薬治療の対象外となる場合もあります。

## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科病棟における摂食嚥下支援チームの関わり

当院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科で行われる頭頸部癌の手術では、患者さんは術後に舌やのどに大きな影響を受け、食べる機能が阻害される例が多くあります。

そこで、このような頭頸部癌の術後患者さんを対象に、術後早期から食べる機能の回復に向けて多職種で取り組むために「摂食嚥下支援チーム」を立ち上げ、2024年6月から活動を開始しています。

チームは、看護師のほか、耳鼻咽喉科医師、歯科口腔外科医師、管理栄養士による多職種で構成しています。患者さんそれぞれに摂食嚥下支援計画書を作成し、週1回のカンファレンスを実施しています。そこでは、予測される摂食嚥下障害を確認し、患者さんに応じた嚥下に関する訓練・指導内容、提供する食事形態を話し合い、支援内容を決定しています。

これからも患者さんの持っている力を最大限に活かし、術後の機能回復の経過に応じて、「食べること」をチームで支えていきます。



## 新たな治療法(整形外科手術分野)の 国際的学術誌「European Spine Journal」への掲載について



当院から派遣している整形外科医師を中心に、新宮市立医療センターで協働研究が行われ、その成果が脊椎外科分野で国際的に評価されている学術誌である「European Spine Journal」に掲載されました。

この協働研究では、腰部脊柱管狭窄症などの患者さんを対象に、脊椎内視鏡手術後の痛みを軽減するための新たな治療法を開発した結果、術後の回復を早める成果が示されました。この成果により、入院期間が短縮され、多くの患者さんの早期社会復帰に貢献できるようになりました。

当院では、和歌山県の基幹病院として、引き続き県内の医療機関と協力し、県民の皆さまに質の高い医療を届けるとともに、最先端の医療技術の発展と実践に全力を尽くして参ります。

あなたの医療情報をスマートフォンで確認  
**青洲リンク PHR機能「NOBORIアプリ」のご案内**

**青洲リンクPHR機能「NOBORIアプリ」について**

**NOBORI** 青洲リンクPHR\*機能「NOBORIアプリ」では、青洲リンクに登録しているご自身の検査結果やお薬などの情報をご自身のスマートフォンで見ることができます。(画像情報は表示できません)

また、ご家族の医療情報についてもご自身のスマートフォンで見ることができますので、スマートフォンを持たないご家族や遠方にお住まいのご家族の医療情報も確認できて安心です。

\*PHR(Personal Health Record)とは、個人が自身の医療や健康に関する情報を記録し、自身の手元で管理するサービス。

**「NOBORIアプリ」で確認できること**

- 登録した医療機関で行った検査結果情報(一部の検査を除きます)、注射や点滴情報、お薬情報。
- スマートフォンを持たない家族や、遠方に住んでいる家族の医療情報。
- マイナポータルのお薬情報や医療費情報、特定健診結果。(マイナンバーカードの連携が必要です)

**「NOBORIアプリ」の登録方法**

登録無料

**1 アプリをインストール**



直近1年間の情報を無料で見ることができます。

また、有料プラン(100円(税込)/月)にお申し込みいただくと、2019年4月1日以降の情報をいつでも見ることができます。

**2 新規登録**



**3 医療機関を登録**



**6 医療情報を見る**



本人確認メッセージの表示が消え、しばらくすると医療情報が表示されます。

**5 青洲リンク参加同意書を記入**

青洲リンク参加同意書を記入していただきます。



※本人確認には、**診察券**と**本人確認書類**(保険証・運転免許証等)が必要です。

**4 本人確認のメッセージ表示**



下記の「青洲リンク事務局」にお越しください。



**「NOBORIアプリ」の  
お問い合わせ及び手続きについて**

「NOBORIアプリ」の利用手続き・本人確認は、青洲リンク事務局(附属病院3階 医療情報部内 ※右図参照)で行っています。

[受付時間] 平日 10:00~16:00

[TEL] 073-441-0858

[メールアドレス] info-ml@seishu-link.jp

附属病院3階

